

### シャガ

(アヤメ科)

木陰の湿ったところに群生し、草丈は高く、白っぽい紫のアヤメに似た花を付けます。

### ミズバショウ(サトイモ科)

高原の雪解けを伝えるミズバショウですが、日本庭園では現在開花中。昨年、イノシシに植栽地を荒らされた影響で花数は少ないですが、清楚な花を今年も咲かせています。

### ヒマラヤユキノシタ (ユキノシタ科)

団扇やしよまじの様な葉の間から長い花茎を伸ばして、その先に淡いピンクの花がボール状につけています。

### ススキノキ (ススキノキ科)

当園では1992年以来25年ぶりにご覧いただけます。前回の開花株は枯死したため、この開花株は2014年10月の導入株。黒色の花茎が立ち上がり、無数のめしべとおしべの入った花をつけています。

### 春の山野草

アメリカ原産のキバナカタクリやヨーロッパ原産のプリムローズ、朝鮮～中国原産のイワヤツデなど、世界各地の春の山野草がロックガーデンのあちらこちらに咲いています。

### ゼラニウム展

当園のゼラニウムコレクションを一同にご覧いただけます。華やかな園芸品種のみならず、国内でも貴重な「変わり葉ゼラニウム」は必見です！お見逃しなく！！

[展示温室にて～4/19]

### 大温室改修のため休館

リニューアルオープンは平成29年秋ごろ(予定)です。

### クリスマスローズ(キンポウゲ科)

一重～八重まで様々な花色の園芸品種が一面を埋め尽くしております。野生種はロックガーデンにてニゲルを始め、リビドウス コルシクス、アトルペンスがご覧いただけます。

### ゾウコンニャク

(サトイモ科)

本園での開花は6年連続で、長径50cm、重さ24kgで国内最大級の株です。花の寿命は3日ほどと思われ、異様な外観の花を楽しむことができます。

### ベニバナトキワマンサク

(マンサク科)

常緑のトキワマンサクの変種。トキワマンサクの淡い黄色の花色とは異なり、濃い紅色です。

